

# 昭和



# 議会だより

第

# 75

号

平成27年1月25日 12月定例会

＜群馬県昭和村議会＞

2 年頭あいさつ

3・4 12月定例会で決めたこと

5 第2回議会報告会

8～10 村の姿勢を問う

12・13 中学生議会





# 年頭あいさつ



議長  
高橋 昇三

新年明けましておめでとう  
ございます。村民皆様には、  
ご家族お揃いで、希望に満ち  
た新春を迎えられたことお  
慶び申し上げます。

昨年11月に村議会の改選が  
行われ、新たに12名の新議員  
が選出され、12月定例会で議  
会構成も決まり、一致団結し  
て村発展のため頑張っていく  
決意をしたところであります。

国では、衆議院総選挙が行  
われ、絶対的安定多数の3分  
の2以上の議席を与党が確保  
し、政権が毎年変わる不安定  
な政局はなくなりましたが、  
与党には国民が主役の政治を  
行っていたきたいと願うと  
ころであります。

人口減が進み、限界集落が  
各地で発生し、平成50年には  
消滅する地域が発生すると報  
じられており、石破地方創生  
担当大臣には、現状に即した  
早急な政策の実行をお願いす

るところであります。地方が  
元気を回復しなければ、日本  
の発展はないものと思いま  
す。

お陰様で、村の農産物は、  
まずまずの単価で販売できた  
のではないかと思ひ、安堵し  
ているところであります。

2月14日の大雪では、23  
00棟余りの農業用ハウスが  
被害を受け、村内道路も除雪  
が間に合わず、パニックにな  
るところでしたが、地域皆様  
の御協力により、人的被害は  
最小限に食い止めることがで  
きました。自助・共助・公助  
の大切さを改めて感じたこ  
ろであります。日本各地で自  
然災害が多発し、異常気象を  
危惧しておりますが、村に災  
害がないことを心から祈って  
おります。

新年が村民皆様にとりまし  
て、幸多き実りある年になり  
ますよう、また元気な昭和村  
が発展し、さらに安心して暮  
らせる村になりますよう、議  
員一丸となって全力で頑張る  
所存であります。今後とも、  
村民皆様の御指導と御協力を  
お願い申し上げます、年頭のあい  
さつとさせていただきます。



副議長  
加藤 英昭

新年、明けましておめで  
とございます。平成27年  
の年頭にあたり、謹んで新  
年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、議会議員の改選  
により、新たな議会構成と  
なりました。議会の果たす  
べき役割の大きさ、村政に  
対する責任の重さを改めて  
感じております。今後も、  
公正・公平で円滑な議会運  
営のため、高橋議長を補佐  
し、全身全霊を傾けて取り  
組んで参りたいと考えてお  
ります。

さて、近年、予測困難な  
自然災害が相次ぐ中、自然  
の猛威を痛感するとともに  
に、生命の尊さや家族の絆  
の大切さを改めて認識いた  
しました。

本村においても、昨年2  
月の大雪は、村民生活に大  
きな影響を与えるところも  
に、農作物や農業用施設に

甚大な被害をもたらしまし  
た。なかでも、農業用ハウ  
スの再建は進んでいるとの  
ことでありますが、一日も  
早い完全復旧を心から願う  
ものであります。

ところで、昨今、道州制  
導入が取りざたされており  
ますが、自然を生かした個  
性ある町づくり、村づくり  
を進めてきた基礎自治体の  
果たす役割は大きく、村議  
会はこのからも村民皆様と  
ともに地域力を育み、存在  
感ある村づくりを進めてい  
かなければならないと思ひ  
ます。

また、議会の活動状況を  
広く村民皆様に知っていた  
だけ、議会に対する理解と  
関心を深めていただけるよ  
う、開かれた議会を目指す  
とともに、議員活動の活性  
化を図り、皆様の声が村政  
に十分反映されるよう、議  
員一同、昭和村の発展、住  
民福祉の向上に、全力で取  
り組む決意であります。

結びに、村民皆様のご健  
勝・ご多幸を祈念いたしま  
して、新年のあいさつとさ  
せていただきます。

# 退任のあいさつ



前議長  
藤井 富夫

議長という大任に就き2年8カ月の間、村民皆様には、温かいご

支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この間、「信頼される議会」、「開かれた議会」を目指しつつ、議員一丸となり議会改革に努めて参りました。平成24年9月には議員提案による議会基本条例を制定し、議会報告会の開催や定例会についてのお知らせ版の発行などを行うとともに、当局との情報を共有するため、議会全員協議会を毎月開

催して参りました。

25年7月には、アメリカオレゴン州、イーグルポイント市を表敬訪問し、ラッセル市長との間で、中学生海外派遣事業や今後の友好関係の継続に向け、きたんのない意見交換を行うことができました。また、昨年2月には、佐藤祐文横浜市会議長の案内により、首相官邸を訪問し、豪雪被害に対する緊急要望書を菅義偉内閣官房長

官に提出して参りました。

今後は、議会運営委員長として、円滑な議会運営に努めるとともに、議長在任中に得た経験を活かし、昭和村の発展のため、全力を傾注して参る所存でございます。

皆様のこれまでのご支援に重ねて感謝申し上げますとともに、なお一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。退任のあいさつとさせていただきます。

# 12月定例会 で決めたこと

12月定例会は、12月15日から22日までの8日間の会期で開催されました。議会改選後の初議会であり、初日に、議長以下議会構成を決定した後、承認2件、議案2件を即日採決し、議案8件については提案理由の説明のみとし、質疑、討論、採決については最終日に行いました。また、最終日には、議案2件がさらに上程され、いずれも原案のとおり可決しました。

## 条例改正

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の一部改正

議会議員及び村長の期末手当の支給月数を0・15月分引き上げ、年4・05月に改定する。

職員の給与に関する条例の一部改正

### 正

人事院勧告に基づき、月例給を平均0・3%引き上げるとともに、勤勉手当の支給月数を0・15月分引き上げ、年4・10月に改定する。

### 国民健康保険条例の一部改正

出産育児一時金の支給額について、産科医療補償制度掛金を3万円から1万6千円に引き下げ、出産育児一時金の基本額を39万円か

ら40万4千円に引き上げ、総額42万円を維持する。本村では、村単独分2万円の加算があるため、総額は44万円となる。

### 総合農政推進資金融通措置条例の一部改正

農林中央金庫が業務機能を継承したため、融資機関のうち、農業協同組合連合会を削除する。

## 契約

### スクールバス購入契約の締結

正座席数37人乗りのスクールバスの購入について、群馬日野自動車株式会社(前橋市)と1655万7720円で契約。

## 人事

### 公平委員会委員に小野一男氏(宿)



監査委員に加藤美昭氏(森下中組) 農業委員会委員に兵藤喜孝氏(三ツ谷)

# 平成26年度 補正予算

## 一般会計補正予算(第5号)

歳入・歳出491万1千円を追加し、総額を46億8,149万3千円とする。

### 【主な歳出】

消防費(全国大会出場費用) 491万1千円増

## 一般会計補正予算(第6号)

歳入・歳出それぞれ580万7千円を追加し、総額を46億8,730万円とする。

### 【主な歳出】

総務費(衆議院選挙費用) 580万7千円増

## 一般会計補正予算(第7号)

歳入・歳出それぞれ5,570万7千円を追加し、総額を47億4,300万7千円とする。

### 【主な歳出】

農林水産業費 2,219万4千円増  
 土木費 1,291万4千円増  
 教育費(スクールバス購入費含む) 2,780万9千円増  
 総務費 2,011万9千円減

## 国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出それぞれ6,747万8千円を追加し、総額を11億8,507万9千円とする。

### 【主な歳出】

保険給付費 5,615万9千円増  
 諸支出金 2,123万9千円増

## 簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)

歳入・歳出それぞれ1,058万8千円を追加し、総額を1億3,036万9千円とする。

### 【主な歳出】

総務管理費 1,058万8千円増

## 農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

歳入・歳出それぞれ300万円を追加し、総額を3億6,750万円とする。

### 【主な歳出】

一般管理費 640万円増  
 戸別浄化槽事業費 340万円減

## 提出された議案等と賛否一覧

※○は賛成 ●は反対 ※議長は、採決に加わらない。		林祐司	藤井貞充	藤井照明	高橋隆雄	永井一行	横坂末吉	兵藤喜孝	加藤生	藤井富夫	林幸司	加藤美昭	高橋昇三
第5回定例会(平成26年12月15日~22日)													
承認第7号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成26年度一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認第8号	専決処分事項の承認を求めることについて(平成26年度一般会計補正予算(第6号))	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	公平委員会委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	総合農政推進資金金融通措置条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	平成26年度一般会計補正予算(第7号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第52号	平成26年度国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	平成26年度簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	平成26年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	監査委員の選任同意について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第56号	スクールバス購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

# 第2回議会報告会を開催

10月に村内3会場で、「第2回議会報告会」を開催しました。これは、平成24年9月に議会基本条例が制定されたことにより、村民皆さんへの説明責任を果たすとともに、ご意見・ご要望などを村政に反映させることを目的に開催したものです。

最初に藤井議長から「村民皆さんと情報の共有を図り、開かれた議会を推進す

るため、昨年度に引き続き議会報告会を開催します」とあいさつがあり、高橋副議長から議会報告会について趣旨説明がありました。

続いて、各委員長から平成25年度決算や9月定例会の議案等の審議結果、常任委員会での付託案件等の審査概要について説明。その後、質疑応答や意見交換が行われました。



地域活性化センター



昭和村役場



赤谷住民センター

開催日	開催場所	参加人数
10月18日(土)	地域活性化センター	9人
10月19日(日)	昭和村役場	4人
10月25日(土)	赤谷住民センター	7人

## 報告会で出された 主な意見等

### ★最低賃金の改善を求める請願については不採択となった。地域の实情に合った最低賃金の引き上げが行われているとのことだが、その根拠は何か。

★集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める請願については継続審査となった。日本の土台を壊すものが集団的自衛権であり、憲法第9条を根本から変えてしまう。憲法第99条は、憲法尊重擁護の義務について規定している。

★水道水から鉄分やマンガンが検出されたと聞いたがどうなのか。

★水道管が老朽化しているの  
で、直してほしい。

★農業委員をはじめ非常勤特別職の報酬が低い。

★政府が打ち出した、農協や農業委員会改革などに対し、村からも国の方に意見を言ってもらいたい。

★村指定文化財の説明板が老朽化しているが、村できちんと管理してほしい。

★配り物が多く、班長さんが大変である。他市町村のちらしは配る必要がないと思う。

★学校給食については、どのくらいの地元産を使っているのか。

★児童の安全確保を考えたとき、小学校はすべてスクールバス通学にした方がいいと思う。

★村では台風接近時、避難勧告を出しても連絡網や行動マニュアルがない。

★昭和の秋まつりは、マンネリにならないよう変える必要がある。

★村では何センチになったら除雪してくれるのか。夜間でもきちんと除雪してほしい。

★ビニールハウスの再建については、延長はできるのか。

★来年度、防災行政無線を整備することだが、屋外スピーカーは付近の人にするさくなるのでは。

★村内にもう一方所特別養護老人ホームを誘致するとう考えはないのか。

★議会議員の定数について、これ以上減らされては、地域の意見が村政に届かないのでは。

★水道水から鉄分やマンガンが検出されたと聞いたがどうなのか。

★水道管が老朽化しているの  
で、直してほしい。

★農業委員をはじめ非常勤特別職の報酬が低い。

★政府が打ち出した、農協や農業委員会改革などに対し、村からも国の方に意見を言ってもらいたい。

★村指定文化財の説明板が老朽化しているが、村できちんと管理してほしい。

★配り物が多く、班長さんが大変である。他市町村のちらしは配る必要がないと思う。

★学校給食については、どのくらいの地元産を使っているのか。

★児童の安全確保を考えたとき、小学校はすべてスクールバス通学にした方がいいと思う。

★村では台風接近時、避難勧告を出しても連絡網や行動マニュアルがない。

★昭和の秋まつりは、マンネリにならないよう変える必要がある。

★村では何センチになったら除雪してくれるのか。夜間でもきちんと除雪してほしい。

★ビニールハウスの再建については、延長はできるのか。

★来年度、防災行政無線を整備することだが、屋外スピーカーは付近の人にするさくなるのでは。

★村内にもう一方所特別養護老人ホームを誘致するとう考えはないのか。

★議会議員の定数について、これ以上減らされては、地域の意見が村政に届かないのでは。

# 総務民生常任委員会

村政一般、庶務、民生、保健、他の委員会に属さない事項を所管

## 赤城原区の消火栓設置は全会一致採択

12月17日に総務民生常任委員会を開催し、説明者に村長、関係課長、係長らの出席のもと、付託された陳情書や要望書等について現地調査、審査を行った。「陳情書 消火栓設置についてのお願ひ」では、要望力所における現在の消火栓は2カ所あり、1カ所は住宅密集地北側にあり道路に面しておらず、もう1カ所はその交差点より南に約70メートルの道路沿いの畑の中にあり、どちらも赤



消火栓の設置要望力所を調査(赤城原区内)

城北麓の灌漑用水を利用している。また、器具収納庫は両方の消火栓と併用のため中間付近に設置してあり、初期消火活動の遅れにもつながりかねないため、消火栓を新設すべきところから全会一致で採択とした。なお、消火栓の種類や設置力所については、当局で検討し設置すべきとの意見が出された。

### 連Pからの要望を審査

P T A連絡協議会から提出された「安全対策に関する要望書」について審査を行った。

川額の高橋たばこ店から上がってすぐの十字路(東電水路用地の上を通る道路)にカーブミラーを設置してほしいという要望については、見通しが悪いと

のことであるが、カーブミラーの役割はあくまでも補助的なものであり、道路標示等による一時停止をし、自分の目で安全確認をすべきであるとの意見が多く、今後、中学校の意向を確認し安全対策を講じるよう当局に要請した。

また、今回のような請願・陳情、要望等については、現地調査時に請願者等に説明していただき問題解決のスピード化を図ったほうが良いとの意見で一致した。

### 保育園で説明受ける

第一・第二保育園を視察し、園長から現状について説明を受けた。

第一保育園は現在、園児数92人。園内には地域子育てセンターがあり、子育て中の親子にふれあいの場を提供し、子育てに係わる情報や子育て相談を行っている。平成26年中の

利用者数は1082組(親子)であり、予約なしに無料で利用ができ、おやつも付いているとのことであった。

第二保育園は、園児数が66人。老人会との交流を通して、昔の遊びを体験しているとのことである。また、渡り廊下に風よけのビニールなまこが張ってあり非常に暖かったが、夏は暑すぎるので保護者会の役員が寒冷紗かれいしやを張るのが年中行事になっているとの説明を受け、現地調査を終了した。



カーブミラーの設置要望のあった十字路(森下区内)

# 文教産建常任委員会

教育、産業、経済、土木、建設、簡易水道、農業集落排水等に関する事項を所管

## 3つの請願等は継続審査に

12月18日に文教産建常任委員会を開催し、請願・陳情力所やPTA連絡協議会より提出のあった安全対策に関する要望力所の現地調査を実施し、その後、審査を行った。

### 融雪装置設置等を審議

「陳情書 赤城原区民館 進入道路拡張工事のお願い」については、大雨の際、側溝が詰まり、北口方面から雨水が敷地内に流れ込んでくるため、北口を閉鎖し、西側進入道路を拡張してほしいといった内容である。しかし、北口閉鎖により利用者に不便を来すおそれがあり、雨水が入らないような改善策を講じるべきであ

るとの意見が出された。こうした意見を踏まえ、今後、陳情者をはじめ区民等の考えを確認する必要があることから、全会一致で継続審査とした。

「昭和村共同採草地内道路の補修に関する陳情」については、当該村道について7カ所の破損力所を提示し、補修をお願いしたいといった内容である。しかし、当該村道は利用者が限られており、道路を傷めた場合、原因者負担という考え方もあるため、陳情者の意見を聴取するとともに、積雪により実施できなかった現地調査を行うことから結論を出すべきとのことから、全会一致で継続審査とした。



村道松ノ木線の状況説明を受ける

「請願書 村道松ノ木線道路の融雪装置設置のお願い」については、当該村道は南側の山林により日当たりが悪く、降雪時には

路面が凍結しやすいため、融雪装置を設置してほしいといった内容である。しかし、融雪装置の設置には、多額の工事費や維持管理費が必要となり、大きな財政負担が発生する。そこで、立木伐採や凍結防止剤の散布などの解決策についても検討すべきとのことから、全会一致で継続審査とした。

### 通学路安全対策を要請

PTA連絡協議会より提出された「安全対策に関する要望書」について審査を行った。森下の信号から叶屋商店付近までの間は、道路が狭く歩道もないため危険であるとのことであるが、道路拡張や歩道整備については難しいため、現在歩行している溝蓋の段差の解消などを県に働きかけるよう当局に要請した。

あかぎチキン上の坂道は、冬期間の砂まきにより春先以降、滑って危険な状態になることから、地域の



森下地内の県道下久屋波川線を調査

人達に清掃作業についての協力をお願いするよう当局に要請した。

コメリ付近の三叉路については、自転車通学者にとつて危険であるため、側溝が壊れている箇所や段差がある箇所についての解消などを、県に働きかけるよう当局に要請した。また、県道側に木が覆いかぶさって見づらいとのことであるが、垣根等の枝が道路側にはみ出した場合には、所有者に枝切りなどの協力をお願いするよう当局に要請した。

# 一般質問

## 結婚の森整備を強く願う!!

### 村長 観光PRや第5次総合計画の 重点項目として考える



兵藤 喜孝 議員

#### 問

結婚の森、この場所は約20年前に鹿島建設がスキー場計画でボーリングをして、赤城山系のきれいな水が豊富に出ている。しかし、使われていなかった管がさび、3年前に800万円のお金をかけて清掃して飲めるようになった。使用していないと、またさびて飲めなくなるので、早急に使い道を考えるべきではないか。

また、この場所は標高800メートル以上あり、沼田市を見下ろし、広大な山々が広がり、とても素晴らしい景観である。村のビューポイントとして考えるべきではないか。

そして、毎年コスモスの花植えを行い、秋には観光客が訪れているが、評価はいまいちである。もつと昭和村の宣伝を考え、観光客の満足度を上げ、リピーターが増える取り組みが必要ではないか。ぜひ、これから作る第5次総合計画の重点項

#### 答 村長

目として結婚の森整備を強く願うが。

結婚の森については、平成15年から当時の系之瀬国有林を活用した記念植樹としてスタートし、12年が経過をしました。その間、結婚した延べ95組の結婚記念植樹と、議会議員、農業委員等の協力による植栽を含めると約700本の桜が植栽され、現在では他とは時期をずらした桜の花を楽しめる観光スポットとなりつつあり、期待されるエリアとなっております。そして、この地の上部にある長者の原井戸については、平成23年に井戸の改修工事を手掛け、1日当たり揚水量約680トンが利用可能な水源として確保されており、工場用地としての一体的な利用を含め、企業誘致に努めて参りました。

現在、具体的な立地には至っていませんが、今後、この水を活用した

事業展開を模索する企業等に情報を提供していきたいと考えています。そして、土地改良事業の実施後は、広々とした畑地帯が望め、遠くには谷川、武尊などの山々が見渡せるビューポイントの一つにも挙げられます。また、村内観光の一つとして地権者会、蕎麦組合等の多くの方々の手によりコスモスや蕎麦を植え、花を楽しんでいただく取り組みが行われ、今後も継続

されていくことが期待されています。ビューポイントの整備も、高台からコスモス等の花々を見渡し、時間を過ごすスペースを整備するなど検討していき、その後は道の駅とも連携した観光PRを進めていきたいと考えています。また、今回策定する新たな総合計画の基本計画の重要施策の取り組みとなつてくるものと考えています。



長者の原に咲くコスモス

# 姿勢問

## 特養ホーム待機者の 解消へ全力を

村長 第6期介護保険計画の作成にあたり、  
今後の検討課題としたい



林 幸司 議員

### 問

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）の待機者問題が深刻で、みんな怒っている。

村内への、小規模多機能施設やサービス付き高齢者向け住宅の整備と、利根沼田圏域への特養施設の増設を推進していくよう求める。

### 答 村長

本年5月現在の待機者は、沼田圏域597名、本村47名、現在40名で、大変心配しています。村独自の施設整備と  
いっても、なかなか関係機関との調整もあり、相談させていただきながら、県へも要望をつないでいきながら、研究・検討して参りたいと思います。

## メガソーラーを生かした村づくりを

村長 第5次総合計画へ盛り込むことも含め  
検討していききたい

6カ所で2万世帯分の大規模太陽光発電所となり、「関東1」となる。

農業・景観・電力の3本柱で村づくり役に立てていく必要がある。

理不尽な、電力会社の接続制限をやめさせると

農産物・再生可能エネルギー

ともに、「原発ゼロ」に尽力するよう求める。

### 答 村長

今後、再生可能エネルギー制度が進んでいかなくなるおそれがあることは心配しています。できる限り、要望等を含め

て対応していききたいと考えています。事故が100%起きないことを確認した上で再稼働を願うところですが、原発を使わないで済めば、それにこしたことはないと思います。

## 来年度予算で「子育て負担ゼロの村づくり」をすすめて

村長 国の動向を注視し、  
財政状況を踏まえた上で検討課題としたい

来年度の予算編成で「村長の選挙公約」をどのように具体化、実現させるお考えなのか決意のほどを伺いたい。

各課に指示をしました。

子育て支援事業や保育サービスの充実を努めて参りたいと考えています。

### 答 村長

財政健全化へかじを切り始めた状況であり、効果のある事業へさらに重点的に予算配分するよう



第一保育園の運動会

# 一般質問

## 子供の「流行性インフルエンザ」の予防接種に補助を

議長 積極的に受けてもらえる  
仕組みづくりを進めます



加藤 生 議員

**問**

「流行性インフルエンザ」予防接種は生後6カ月から13歳までは2回の接種、14歳から15歳は1回の接種を受けることにより流行を未然に食い止める。これは大事なことだと考えるが村長の考えは。

**答**  
村長

予防接種は接種年齢期間や間隔が決まっている

ため保護者が混乱をし、必要回数を満たせず自己負担で接種を受ける人が年に4、5名います。

社会への蔓延を予防するための定期接種を最優先として、インフルエンザについては検討したいと考えています。

**問**  
乳幼児は2回接種、中学生の受験生も含めてもう一度考え

生も含めてもう一度考え

**答**  
村長

乳幼児でなく就学している子供たちがインフルエンザにかかる確率が高いことは認識しています。中学校で流行していることも聞いています。

今後、乳幼児の予防接種のほかにインフルエンザ等も積極的に受けしてもらえる手厚い体制づくり

**問**

接種することによって中学校の学級閉鎖がなくなる。村長の考えをお聞かせ願いたい。

**答**  
村長

積極的に受けてもらえる仕組みづくりを進めます。

### 若い農業経営者に先進地視察を

村長 新技術を導入するためには大変重要

**問**

昭和村の若い農業経営者に6次産業化された経営や新農業技術にふれ、明日の経営に活かすことは大変大事なことです。

若い経営者に先進地への視察を行い、豊かな農業経営に生かすためにも、新年度予算で実施していただきたい。

**答**  
村長

本村の農業を維持・発

**問**

利水作物の開発や支援制度の整備は、どのように考えているか。

**答**  
村長

村では95%以上の土地改良事業が進み、現在でも水を利用した農業経営が積極的に行われています。

各種部会、研究会を通していろんな先進地視察をしていただく中で、発展できるように進めていきたいと考えています。



農業委員会で台中裕毛屋1号店を視察

## 問

村では、トラクターをはじめ、機械、農産物などが数多く盗難されている。盗難防止のため、村外に通じる4本の橋、望郷ライン、大規模農道、昭和インター等にぜひ防犯カメラの設置をお願いしたい。



## 答

トラクターをはじめ機械、農産物等が大変盗難されており、議員さんや農業委員さんにパトロールをしていただいています。農家にとってトラクターは欠かせない機械であり、貴重な財産であり、適正な保管や盗難防止に努めていただきたいと思います。

担当者のお話によると、盗難されたトラクターはトラックに積んで運ばれているとのことであり、今後は村を出入りする主要道路等に防犯カメラを設置するなど、盗難防止対策について調査研究をして参ります。



## その後

村では、トラクターや農産物などの盗難被害が多発し、盗難抑制対策が大きな課題でした。

そのため、農業委員、議会議員のパトロールと併せ、圃場にトラクター等の管理徹底の周知とGPS機能のシステムや防犯カメラ設置等の検討に取り組んで参りました。

そこで、関係機関等と検討した結果、子どもたちの安全確保とトラクター等の盗難抑制を目的に防犯カメラを導入することとし、村内に13カ所設置しました。

引き続き、防犯カメラの効果を検証しながら、カメラの増設と防犯対策を推進していきたいと考えています。



村内13カ所に設置された防犯カメラ

## 追跡 23 シリーズ

# あの問題は



トラクターの盗難について村内に防犯カメラを

議員が行う提言などは、村政にどう反映されているのか。皆さんからの請願や陳情は議会採択後、どのように処理されているのか。その後の経過を追跡します。

(平成24年6月定例議会一般質問)

# 中学生議会

11月21日に10回目となる「中学生議会」が開かれ、参加した8人の生徒から感想をお寄せいただきました。

## 1組



加藤 弘崇 ひろたか ひろたか



中学生議会が始まる前は、とても緊張したけど、発表は堂々とできたと思う。議

場はもっと広いところだと思っていただけで、思ったより狭かった。この議場で昭和村についていろいろ決められていると思うと、わくわくした。今回、村長さんにたくさんの提案をしたが、この中からどれくらい採用されていくのか楽しみに思う。これからの昭和村を良くしていくような提案がたくさんあつたと思うので、議員の方々に検討してもらいたい。昭和村がどのようなことを行っているのか、これからどう提案を活かしていくのか知ることができよかった。昭和村が多くの人の知ってもらえるような企画を作ってもらい、自分たちも貢献していきたいと思う。

加藤 愛香 あいか あいか



私は「福祉」をテーマに、少子高齢化をくい止めるにはどのような対策をしているのか、年々減少している人口をくい止めるにはどうするのかといった質問を考えました。先輩方の中学生議事をTVで見たのでどういう感じ

なのかが分かったけれど、暗記して質問したので、間違えず言えるかどうか心配でした。本番ではたくさんの議員さんがいて、とても緊張しました。他のテーマの提案や質問に對しての村長さんの答えを聞いて、「なるほど」と思ったり、初めて知ることでもたくさんありました。演壇に立ってみると、思ったよりも緊張しませんでした。今、私たちにできるフォトコンテストへの応募やイベントへの参加をして、昭和村を活性化していきたいと思いました。そして、もっと良い村にしたいと思いました。

金子 義和 よしかね よしかね



中学生議会で提案

などをしたところ、もう実行しているものも多くてびっくり

しました。村は、僕たちの知らないところで良い村にしようとしているんだと改めて思いました。しかし、子どもの目線で提案することが村のためになるんだと思います。いろいろな角度から見ること、昭和村の発展につながることで、これからも中学生議会继续してほしいです。中学生議会では、農業について提案しました。農業は昭和村にとって一番盛んなことであり、一番身近なことだと

金子 奈緒 なほかね なほかね



思っている以上に、他市町村・県との交流を流していました。

また、村が発展していくために対策や工夫をしていることがたくさんあり、村民としてもっと村について知っていかなければと改めて思いました。議会の雰囲気は決して軽いものではなく、一人一人がとても真剣で、あの雰囲気の中で「はい、議長」と手を挙げるのは、とても緊張しました。中学生議会を通して、議会の雰囲気、やり方を味わうことができ、とても良い経験ができました。村長さんとの議論もなかなかできないことなので、機会を与えてくれた方々に感謝したいです。

# 中学生議会

## 2組



須藤 俊英

私たちの班は、人口減少対策やUターン政策についての質問、提案をしました。どれくらいの人が村から出ているのか、流出を防ぐために何をしているのかなどを質問しました。村長さんに答えてもらい、村の実態を知ることができました。自分が住んでいる村がどうなっているのかを知ることとは大切なので、こういう機会があつて良かったです。私たちは、つたない提案しかできませんでしたが、村のことに参加することや、他人事だと思わず、自分のことと考える意見を持つことはとても大切だと思いました。また、このような緊張する経験も少ないので、良かったと思います。これからは、村の一員というのを自覚し、村のことに積極的に参加できると思います。



初めての中学生議会は、とにかく緊張しました。私たちが考えた案も、短い時間だったので、予算などお金のことも深く考えられませんでした。昭和村の特産物は、野菜、こんにゃくなどだと思います。また、自然がいつ



木樽 冨香

ばいで、たくさん魅力があります。その良さを生かして、昭和村の活性化につなげていきたいなと思いました。村長さんの話を聞いて、自分たちの案がどれほど甘いか、改めて感じました。また、気になっている点など詳しく話してくれたため、より村のことを知ることができました。私たちの提案で、考えを広げてもらえたらと思います。そして、群馬県で一番の野菜王国の村になり、日本一と言われるように、もつと伸ばせていきたいらいいと思いました。

堤 海斗

私は議会に参加をして、たくさんの人たちの前で話すのは、初めてだったので、とても緊張しました。中学生議会をする前に、自分たちで昭和村のことを調べてみて、豊かな自然が多くあり、とても良い村だと思います。しかし、少子高齢化が進んでおり、イベントやお祭りなどで若い人の参加人数が少なく、開催するのが困難になるという問題も出てきました。例えば、川額や森下のまんどろや糸井のなんまいだなど、子どもが少なくとても大変でした。お祭りなどに大きく影響するので、私たちの考えた対策や、何かを考えて対策を



私たちが考えた質問や提案に丁寧にご回答いただき、勉強になりました。議会を体験してみて、問題を改善するには、とても大変ということがよく分かりました。一つの問題や提案に対し、さまざまな視点から考え、たくさんの方の可能性を考え、いろいろな意見を聞き議論し、そこでやるとまとまるのだなと思いました。また、昭和村を発展させるために必要な提案でも、多額の資金がかかるため行えないことがたくさんあることが分かりました。良い提案でも、他の人の意見を聞いて改善すべき点が見つかることも分かりました。私たちの昭和村が議会によって、住みやすく便利な地域になり発展し、もつと他の地域の人たちに村の良いところを知ってもらえたらいいと思います。

竹部 桃佳



私たちが良いと思いましたが、私たちの中で、将来、昭和村の議員や他の地域で議員になる人がいるかもしれないので、このような体験ができたので良かったです。

# みなさんからの請願・陳情

自 平成26年9月22日 至 平成26年12月4日

受理番号	受理年月日	件名	請願・陳情者	紹介議員名	付託委員会	審議結果
1	H26. 9.22	陳情書 消火栓設置についてのお願い	赤城原第一区長 田中島 定 第6分団長 橋本 昭紀		総務 民生	採択
2	H26. 9.29 (郵送)	陳情書 横田めぐみさん拉致事件に関する陳情	日本軍海兵隊 片木 豊			配布のみ
3	H26.10.31	陳情書 赤城原区民館進入道路拡張工事のお願い	赤城原第一区長 田中島 定 赤城原第二区長 荒井 信	中里信幸	文教 産建	継続 審査
4	H26.12. 2	昭和村共同採草地内道路の補修に関する陳情	農事組合法人 昭和村採草組合 組合長 吉野 憲司		文教 産建	継続 審査
5	H26.12. 4	請願書 村道松ノ木線道路の融雪装置設置のお願いについて	松ノ木平第一区長 古川 武生	高橋昇三 中里信幸	文教 産建	継続 審査

## 議会の動き

### 10月

- 18日 ●第2回議会報告会(地域活性化センター)
- 19日 ●第2回議会報告会(役場)
- 20日 ●群馬県町村議会議長会役員会(渋川市)
- 21日 ●<sup>みふまち</sup>栃木県壬生町議会視察研修来村
- 23日 ●議会全員協議会
- 25日 ●第2回議会報告会(赤谷住民センター)
- 29日 ●群馬県町村議会議員研修会(吉岡町)

### 11月

- 3日 ●村内バレーボール大会  
●農産物等盗難防止パトロール隊出発式
- 5日 ●秋の道路愛護巡視
- 6日~20日 ●農産物等盗難防止パトロール(4日間)
- 8日 ●全国消防操法大会(東京都)

- 12日 ●町村議会議長全国大会(東京都)
- 13日 ●長野県原村議会行政視察来村
- 14日 ●広域圏定例議員協議会  
●利根沼田学校組合議員協議会  
●利根郡定例議長会
- 15日 ●全国消防操法大会出場祝賀会
- 16日 ●玉村町産業祭
- 17日 ●宮崎県木城町議会行政視察来村
- 21日 ●中学生議会  
●広域圏議会定例会  
●利根沼田学校組合議会定例会  
●沼田市外二箇村清掃施設組合議会定例会
- 22~23日 ●文化祭

### 12月

- 8日 ●第15期議員総会
- 15日 ●第5回昭和村議会定例会  
●本会議(初日)  
●議会広報編集特別委員会
- 16日 ●議会全員協議会
- 17日 ●総務民生常任委員会
- 18日 ●文教産建常任委員会

- 19日 ●議会全員協議会
- 22日 ●本会議(最終日)
- 24日 ●議会広報編集特別委員会  
●農業振興地域整備促進協議会
- 25日 ●利根郡議会議長会臨時会
- 26日 ●仕事納め

### 1月

- 5日 ●仕事始め
- 6日 ●群馬県議会新春交流会  
●上毛新聞社新年交歓会
- 8日 ●議会広報編集特別委員会
- 10日 ●消防団出初式
- 11日 ●成人式
- 12日 ●新年賀詞交歓会
- 13日 ●広域圏定例議員協議会  
●利根郡定例議長会  
●新年懇話会
- 15日 ●議会広報編集特別委員会
- 23日 ●議会全員協議会  
●第1回昭和村議会臨時会
- 24日 ●「わたしと家族」作文発表会

# 聞きたい、知りたい みんなの

1月11日に第57回昭和村成人式が公民館で開催され、真新しいスーツやあでやかな振り袖姿の新成人が、大人の第一歩を踏み出しました。今回は、そんな新成人4名の声をお届けします。



横坂 P 大智さん  
(田岸)

幼い頃の私から見た20歳のお兄さん、お姉さんはとても大きな存在であり、早く大きくなりたいと常に考えていたのを覚えています。今の私は、あの時のお兄さんのような存在になれるでしょうか。

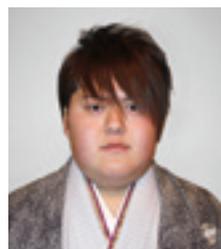
私は、高校を卒業後、親元を離れ、一人暮らしをしながら大学に通わせてもらっています。社会に出て働くことになるときには、今までのような考え方は多くの壁にぶつかってしまいうでしょう。幼い頃は非常に不快だった「子ども扱い」も、なくなってしまうと考えると少々寂しく思います。成人を迎えるということは、周囲の人から一人前の人間という前提で接せられるということなのです。成人式を機に、これまでを省み、大人としての自覚を持ち、生活していきたいと思えます。



高橋 琴美さん  
(大河原)

高校を卒業し社会に出て早2年、この世に生を受けて20年が経ちました。年齢や立場はどんどん大人になつていきますが、自分を省みると内面はあまり成長していないように思います。そして、この2年間、分

からないことばかり、戸惑うことばかりでした。未熟な私を支えてくれたのは、温かい家族をはじめ、時には励まし叱つてくれた大切な友達、優しくくださったことを教えてくれた職場の方々です。その他にも数多くの方々に、笑顔や元気を分けてもらいました。全ての人に、感謝の気持ちを伝えたいと思います。いつも、お心にかけていただき、そして手をさしのべてくださり、ありがとうございます。普段は照れくさくて言えないけれど、お父さん、お母さん、いつもありがとうございます。



林 淳樹さん  
(生越)

20歳になって子どもから大人へと変わり、いろいろと考えなければならぬ年齢になりました。

私は小学校2年生から和太鼓をしています。今までは大人の方々に引つ張ってもらうことが当たり前でしたが、今後は自分が先頭に立たなければならぬ立場になりました。

今では、小さい子どもたちもいますが、なかなか指導ができず、大人の人に頼り切りです。20歳を境に、太鼓でも人生でも頼られる男になりたいです。(笑)  
今後は、子どもたちといっしょに、自分も成長していきたいと思っています。いずれは、曲作りに挑戦し、もつと昭和村に太鼓を広め、貢献できるように頑張りたいです。メンバーも増やし、より活気のある大きな団体にしていきたいと思えます。



綿貫 諒太さん  
(鎌沢)

新成人となる私たちは、高校卒業を機に社会人として働き出したものや、スキルを高めるため大学などに進学したもの、そして今まさに自分を見つめるために奮闘しているものと様々です。今はまだ若く、どう社会に貢献していけばいいかわからず、もがいているものも多いと思います。しかし、昭和村を愛し、発展に貢献したいと考えていると信じています。そして、この母なる大地に恩返しができるよう精進していきます。

昭和村に望むことは、いつまでも存在してほしいということ。人口減少や財政難から合併に至った市町村は数知れず。しかし、この良き地を永遠に残すために、私たちの力は使われるべきだと考えます。私たちは昭和村と共に。これまでも、これからも。

# 地域でがんばる人

利根沼田和紙ちぎり絵愛好会 諸田しで子さん（永井上組）



私が、ちぎり絵を始めたのは、一枚の花の絵がきっかけです。それは、ぼたんの花の絵です。薄紫色で、和紙の持つ柔らかな色使いがとても心に残りました。何年か経って近所のおばあちゃんが、高砂大学で作品を発表しました。その時、ちぎり絵の先生に会うことができました。平成10年より永井教室が、6名の仲間と始まりました。利根沼田には、60名の仲間がいます。

春と秋には、利根沼田文化会館で作品展を行っています。毎回テーマを決めています。例えば、春は、世界文化遺産になった記念に「富士山」をテーマにし、秋は花をテーマに決め、「ひまわり」を貼り皆で楽しみました。また、体験教室も行っています。10月には、富山県の五箇山全国和紙ちぎり絵展にも出展しています。11月には、昭和村の文化祭に昭和教室の仲間で開催しています。昨秋の文化祭には、永井サロンの皆さん（65歳〜88歳）で庭先に咲いている花をボードに貼った作品を出展しました。

農閑期の冬の間、好きなきり絵を貼り、できた作品を仲間と見せ合い、助言してもらっています。できれば昭和村の文化祭に足を運んでいただき、機会があれば私たちの仲間になつても歓迎いたします。



諸田さんの力作「富士山」

## 冬の健康ちよつとレシピ

（昭和村管理栄養士 堤 梨紗）

### ワンポイントアドバイス



#### 材料（2人分）

白菜…200g、豚ひき肉…100g、ごぼう…40g、たまねぎ…40g、えのきたけ…50g、トマトピューレ（食塩無添加）…150g

①【中濃ソース…小さじ2（10g）、コンソメ…小さじ1（2.6g）】、ピザ用チーズ…40g、オリーブオイル…大さじ½（6g）、こしょう…少々

#### 作り方

- ①白菜は1cm幅のザク切りにし、ごぼうはささがきに、玉ねぎはみじん切りにする。えのきは3cm長さに切る。
- ②フライパンにオリーブオイルを熱し、ひき肉、ごぼう、玉ねぎを入れ炒める。さらにえのきを加えひき肉に焼き色がつくまで中火でしっかり炒める。
- ③白菜を加えてざっと混ぜ、トマトピューレと①を加え、フツフツとしてきたらふたをして、時々混ぜながら弱火で5分間煮る。こしょうで味を調える。
- ④耐熱皿に③を移しチーズをのせ、チーズに焼き色がつくまでオーブントースターで焼く。

#### 栄養価（1個分）

エネルギー…160kcal、塩分…1.4g

#### ワンポイントアドバイス

- ・野菜たっぷりのグラタンです。
- ・冬が旬のごぼうには食物繊維が多く含まれ、整腸作用の他に、悪玉コレステロールを排出する働きや血糖値の上昇を抑える働きなど様々な効果があり、生活習慣病予防に役立ちます。

### 編集室から

平成27年明けましておめでとうございます。今年が皆様にとって、平穏な年でありますように心からお祈り申し上げます。昨年を振り返ってみますと、4月1日から消費税が5%から8%になって、消費者にとっても農家にとっても、生活に重くのしかかったのは事実です。また9月には、御嶽山が突然噴火し、登山者が巻き込まれて多数の死傷者がでたのは記憶に新しいことです。近隣の山々である赤城山、榛名山、日光白根山は、あのような噴火がないとは断言できません。心配するところではあります。

昨年6月には、富岡製糸場が世界遺産に登録されました。私も行く機会があったので、見学してきました。明治政府が国の威信をかけて、輸出品の要であった生糸の品質改良と、大量生産を可能とする器械の導入と推進を行いました。日本の工業化は製糸から始まったそうなんです。読者の皆様、まだ見学に行っていない人がいましたら、ぜひ行ってください。「百聞は一見に如かず」ですよ。高橋 隆雄 記

- 議会広報編集特別委員会
- 委員長 藤井 貞充
  - 副委員長 高橋 隆雄

- 永井 一行 横坂 末吉
- 林 祐司 藤井 照明
- 加藤 美昭 高橋 昇三